



### 1 日本橋

慶長8年(1603)江戸開幕年に架橋され、翌年、日本橋は五街道の起点と定められた。現在でも主要な国道は日本橋を起点として測定されている。路面中央には日本国道路元標が埋め込まれ、その複製は北西橋詰広場に設置されている。



### 3 雷門と仲見世

雷門は浅草寺の総門であり、天慶5年(942)に創建された。慶応元年(1865)に焼失、昭和35年に再建された。もともと左右に風神像、雷神像があることから風雷神門、略して雷門と呼ばれるようになった。雷門をくぐると約250mほど土産物屋などが続く。仲見世と呼ばれ、始まりは元禄・享保(1688~1735)の頃といわれている。



### 2 十思公園

十思(じゅう)公園とその周辺は江戸時代の伝馬町牢屋敷跡である。吉田松陰もこの牢屋敷に投獄され、園内には「吉田松陰終焉之地碑」がある。江戸庶民に時を知らせる「時の鐘」も園内に残されている。江戸の旅人は七つの時(午前4時)の鐘を聞いて出発した。



の寺院の古の寺では聖観音がある。幕府の庇護に遊興の場となった。地震、雷、火事など、何度も被災したが、その度に修復されてきた。本堂は3代将軍が1649年(慶安2年)に再建し、約300年が経過するまで国宝に指定されていた。

